

L2: Entry 15 of 22

File: JPAB

Aug 31, 2001

PUB-NO: JP02001236448A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001236448 A

TITLE: CONSIGNMENT SALES SYSTEM USING INTERNET

PUBN-DATE: August 31, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KOJIMA, KENICHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FORVAL CORP	

APPL-NO: JP2000045354

APPL-DATE: February 23, 2000

INT-CL (IPC): G06F 17/60; H04N 1/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a consignment sales system, using the Internet, which can be used securely by anybody by increasing the trust and reliability of dealings.

SOLUTION: The consignment sales system using the Internet includes a server 11, which is present on the Internet and performs consignment sales of article, a seller client 21 which provides article information Ia for the server 11 and sells the articles, and a buyer client 31 who browses the article information Ia provided on the server 11 to purchase an article and is equipped with an actual store 40, whose articles can also be dealt with by using the Internet 'IN'. The actual store 40 is equipped with a camera 42 for storing photography, and its video can be displayed on the seller client 21. At a dealing stage, the money from the buyer is temporarily kept by the consignment sales system 1.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(11)特許出願公開番号
特開2001-236448
(P2001-236448A)

(43)公開日 平成13年8月31日(2001.8.31)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-リ-ト* (参考)	
G 0 6 F 17/60	4 2 4	G 0 6 F 17/60	4 2 4	5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C	5 B 0 5 5
	3 1 4		3 1 4	5 C 0 6 2
H 0 4 N 1/00		H 0 4 N 1/00	Z	

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 9 頁)

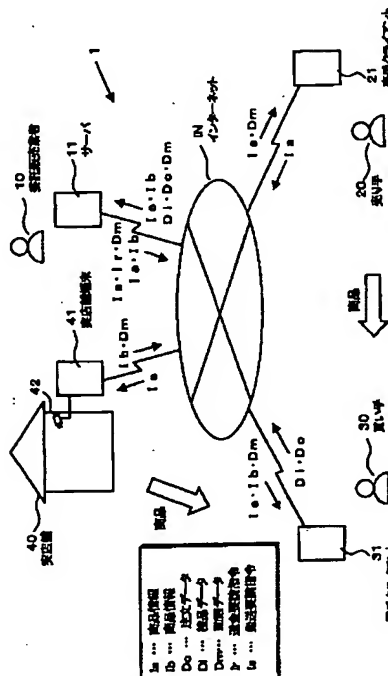
(21)出願番号	特願2000-45354(P2000-45354)	(71)出願人	394004402 株式会社フォーバル 東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
(22)出願日	平成12年2月23日(2000.2.23)	(72)発明者	小島 健一 東京都豊島区東池袋1-35-3 株式会社 フォーバル内
		(74)代理人	100064414 弁理士 磯野 道造
		Fターム(参考)	5B049 AA05 BB11 BB46 CC05 CC36 DD01 DD05 EE01 EE05 EE07 FF03 FF04 FF09 GG04 GG07 5B055 CB09 EE02 EE04 EE21 EE27 JJ05 PA05 PA30 5C062 AA13 AA29 BD06

(54)【発明の名称】 インターネットを利用した委託販売システム

(57) 【要約】

【課題】 取り引きの信用及び信頼性を高め、誰もが安心して利用することのできるインターネットを利用した委託販売システムを提供すること。

【解決手段】 インターネット上に存在し商品の委託販売を行うサーバ１１と、サーバ１１に商品情報１ａを提供して商品を販売する売手クライアント２１と、サーバ１１に提供された商品情報１ａを閲覧して商品を購入する買手クライアント３１、を含んでなるインターネットＩＮを利用した委託販売システムに、実店舗４０を備え、この実店舗４０の商品もインターネットＩＮを利用して取り引き可能とした。実店舗４０に店舗撮影用のビデオカメラ４２を備え、売手クライアント２１に表示可能とした。取り引き段階において、買い手からの代金を一旦委託販売システム１が預かる構成とした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット上に存在し商品の委託販売を行うサーバと、前記サーバに商品情報を提供して商品を販売する売り手が使用するインターネット接続可能な売手クライアントと、前記サーバに提供された前記商品情報を閲覧して前記商品を購入する買い手が使用するインターネット接続可能な買手クライアント、を含んでなるインターネットを利用した委託販売システムであって、

この委託販売システムは、売り手が持ち込んだ商品を実際に展示して販売する実店舗を備え、

前記サーバは、前記売手クライアントからの商品情報及び前記実店舗に展示された商品についての商品情報を格納する商品情報格納手段を備え、前記格納した商品情報を閲覧可能に保持し、さらに、前記買い手からの注文を処理する注文処理手段を備え、

前記売手クライアントは、前記サーバに少なくとも前記商品情報を提供するための情報提供手段を備え、

前記買手クライアントは、少なくとも前記サーバが保持する前記商品情報を閲覧する閲覧手段及び前記商品情報に基づいて当該商品を購入するための注文手段を備えること、を特徴とするインターネットを利用した委託販売システム。

【請求項2】 前記実店舗に店舗撮影用の撮像手段を備え、この撮像手段により撮影した店舗画像を、前記サーバを介して前記買手クライアント及び／又は売手クライアントに表示可能としたこと、を特徴とする請求項1に記載のインターネットを利用した委託販売システム。

【請求項3】 前記買い手が前記売り手から前記商品を購入する場合において、

前記委託販売システムは、前記買い手から前記商品の代金が所定の金融機関の口座であって前記委託販売システムが管理するものに振り込まれたことを確認した後に、前記売り手に対して前記商品を前記買い手宛てに発送させ、あるいは前記実店舗に対して展示された商品を前記買い手宛てに発送させ、

前記買い手からの前記商品の検品連絡を待って前記振り込まれた代金から所定の手数料を差し引いて前記売り手に送金すること、を特徴とする請求項1又は請求項2に記載のインターネットを利用した委託販売システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、インターネットを利用した委託販売システムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年インターネットを利用した電子取引やショッピングが注目され、取引額が年々飛躍的に増大している。インターネットを利用した電子取引などとしては、逆オークションに関するプライスライン特許（米国特許第5,794,207号）がある。また、わが国で

も、電子商取引やショッピングシステムについて様々な特許出願がなされている。このインターネットを利用した電子商取引やショッピングには、企業同士のBtoB（Business to Business）といわれる形態、消費者向けのBtoC（Business to Consumer）といわれる形態、及び消費者同士のCtoC（Consumer to Consumer）といわれる形態がある。

【0003】また、このBtoB、BtoC、及びCtoCにおける取引の一態様として、インターネットを利用した委託販売がある。このインターネットを利用した委託販売は、売り手から委託された商品を販売する委託販売業者がインターネット上のホームページ（ワールドワイドウェブの情報画面）に、掲示板や仮想店舗などを設けることにより行なわれる。例えば、委託販売業者は、商品を販売しようとする企業・団体あるいは個人などの売り手から委託を受けて、売り手が所有する商品の情報をインターネット上の仮想店舗などに展示する。つまり、委託販売業者は、インターネットにより当該商品情報を広く一般に閲覧可能とする。同時に、委託販売業者は、当該商品を購入しようとする企業・団体あるいは個人などの買い手から注文を受けて、これを販売する。通常、代金の支払いは、委託販売業者を介して行なわれ、委託販売業者は買い手から代金を預かり、この代金から委託販売に要した手数料差し引いて売り手に支払う。なお、インターネットを利用した委託販売では、商品は、委託販売業者を介さずに買い手から売り手に発送されるケースや、委託販売業者を介して買い手に発送されるケースがある。いずれにしても、今後このような形態のインターネットを利用した委託販売などの電子取引は、広く一般に行なわれるようになると考えられる。

【0004】ところで、このようなインターネットを利用した電子取引においては、取引にどのようにして信用及び信頼性を与えるかが大きな問題になっている。このため、個人認証技術や暗号化技術などを適用してデータの改竄・盗聴やなりすましを防止したり、コンピュータシステムの信頼性を向上したりしている。このようにすることで、取引の信用及び信頼性の向上を図ることができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記したインターネットを利用した委託販売では、委託販売業者自身の信用及び信頼性も問題になる。つまり、委託販売業者が、売り手の商品や買い手から集めた代金を騙し取ったりすることが考えられる。殊に、インターネットを利用した委託販売は、インターネット技術があれば、誰でもどこでも少ない資金で、しかも、誰にも知られることなく秘密裏に営むことが可能である。また、委託販売業者は、自己の商品を取り扱うわけではないため、突然事業を取り止めて身を隠すことも容易に行いうる。このため、インターネットを利用した委託販売システム

における取り引きの信用及び信頼性については、データの改竄・盗聴やなりすましの防止、コンピュータシステムの信頼性向上など、とは別の観点からこれを大きく改善することが求められる。

【0006】そこで、本発明は、取り引きの信用及び信頼性を高め、誰もが安心して利用することのできるインターネットを利用した委託販売システムを提供することを主たる課題とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決した本発明は（請求項1）、インターネット上に存在し商品の委託販売を行うサーバと、前記サーバに商品情報を提供して当該商品を販売する売り手を使用するインターネット接続可能な売手クライアントと、前記サーバに提供された前記商品情報を閲覧して前記商品を購入する買い手を使用するインターネット接続可能な買手クライアント、を含んでなるインターネットを利用した委託販売システムである。また、この委託販売システムは、売り手が持ち込んだ商品を実際に展示して販売する実店舗を備える。また、前記サーバは、前記売手クライアントからの商品情報及び前記実店舗に展示された商品についての商品情報を格納する商品情報格納手段を有すると共に、前記格納した商品情報を閲覧可能に保持し、さらに、前記買い手からの注文を処理する注文処理手段を有する。また、前記売手クライアントは、前記サーバに少なくとも前記商品情報を提供するための情報提供手段を備える。そして、前記買手クライアントは、少なくとも前記サーバが保持する前記商品情報を閲覧する閲覧手段及び前記商品情報に基づいて当該商品を購入するための注文手段を備える。

【0008】この請求項1の構成においては、委託販売を行うサーバがいわゆる仮想店舗などに該当する。このサーバには、売り手からの商品情報がインターネット経由で送られ、サーバは、この商品情報を閲覧可能に保持する。さらに、委託販売システムは、実店舗を備える。実店舗には、売り手から実際に商品が持ち込まれる。持ち込まれた商品についても、商品情報がサーバに入力され、サーバは、これを閲覧可能に保持する。つまりサーバには、インターネット経由で売り手から送られた商品情報と、実店舗に持ち込まれた商品についての商品情報の2種類の商品情報を有する。これらは、共にインターネットで閲覧可能になっている。買い手は、インターネット経由でサーバにアクセスして商品情報を入手する。そして、気に入った商品があれば、注文手段により注文して商品を購入する。この構成によれば、実店舗を委託販売システムに備えるので、委託販売業者の信用及び信頼性が飛躍的に向上する。しかも、実店舗に持ち込まれた商品の情報もサーバに取り込みインターネットで閲覧及び購入可能とし、実店舗と仮想店舗を有機的に結合している。したがって、売り手及び買い手は、安心して取

り引きを行なうことができると共に、取り引きにおける選択肢が増える。なお、実店舗への持ち込み商品については、委託販売業者が検品を行うことが可能であり、検品を行うことにより取り引きにおけるトラブルを少なくすることができる。

【0009】また、本発明のインターネットを利用した委託販売システムは（請求項2）、前記実店舗に店舗撮影用の撮像手段を備え、この撮像手段により撮影した店舗画像を、前記サーバを介して前記買手クライアント及び／又は売手クライアントに表示可能とした。

【0010】この請求項2の構成によれば、実店舗の画像を買い手及び／又は売り手が見ることができ、委託販売業者の信用及び信頼性を一層向上することができる。この撮像手段は、実店舗内の様子や店舗外の様子などを撮影し、電子データに変換することができものであればよい。

【0011】そして、本発明のインターネットを利用した委託販売システムは（請求項3）、前記買い手が前記売り手から前記商品を購入する場合において、前記サーバは代金支払い確認手段を備える。そして、前記買い手から前記商品の代金が所定の金融機関の口座であって前記委託販売システムが管理するものに振り込まれたことを確認した後に前記売り手に対して前記商品を前記買い手宛てに発送させ、あるいは前記実店舗に対して展示された商品を前記買い手宛てに発送させ、前記買い手からの前記商品の検品連絡を待って前記振り込まれた代金から所定の手数料を差し引いて前記売り手に送金する。

【0012】この構成によれば、買い手が支払った代金は、一旦委託販売システムが管理する口座に振り込まれる。この振込みを確認すると、商品が買い手のもとに発送される。買い手は、この商品を検品し破損などの確認を行う。確認がとれれば、売り手のもとに手数料を差し引いた額の代金が支払われる。これによれば、前記の通り信用及び信頼性を高めた委託販売業者のもと、買い手及び売り手は安心して取り引きを行なうことができる。

【0013】なお、本発明において、商品は特に限定されるものではなく、動産や不動産の別を問わない。不用品なども商品に該当する。また、本発明における商品には、役務などのサービスも含む。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を、図面を参照して詳細に説明する。図1は、本実施の形態のインターネットを利用した委託販売システムの全体構成図である。図2は、サーバのハードウェア構成例を示す図である。

【0015】本実施の形態のインターネットを利用した委託販売システム1は、図1に示すようにサーバ11、売手クライアント21、買手クライアント31、及び実店舗端末41がインターネットINに接続されている。ちなみに、この図1では、売手クライアント21、及び

買手クライアント31は1台ずつしか記載していないが、実際には、インターネットINに接続されている膨大な数のパーソナルコンピュータ（以下「パソコン」という）などが、売手クライアント21及び買手クライアント31に該当する。なお、実店舗40及び実店舗端末41を複数としてもよい。

【0016】〔ハードウェア構成〕サーバ11は、図2に示すように、MPU（Micro Processing Unit）12、RAM（Random Access Memory）13、外部記憶装置14、入出力装置15、DSU（Digital Service Unit）16などがバス（Bass）17に接続されている。MPU12は、各種演算処理を行うと共に、サーバ11を統括的に制御する。RAM13は、各種プログラムが起動している。外部記憶装置14は、各種データや各種プログラムを格納している。入出力装置15には、キーボード・マウスなどが、I/O装置を介して接続されている。なお、DSU16は、ISDNなどのデジタル回線のユーザ側に設置する電子データの送受信装置である。

【0017】サーバ11は、インターネットINに接続されると共に、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）サーバプログラムが起動（RAM13に起動）している。ここで、HTTPサーバプログラムは、HTTPで通信するための通信基盤をなすソフトウェアである。ちなみに、HTTPは、WWW（World Wide Web）の情報を取得するためのプロトコルであり、HTML（Hyper Text Markup Language）を用いてインターネットINに接続されたサーバとサーバ間又はサーバとクライアント間の相互の通信を可能とする。また、サーバ11（RAM13）には、商品情報Ia・Ibを外部記憶装置14に格納する商品情報格納プログラム（商品情報格納手段）、及び買い手30からの注文を処理すると共に代金の収受処理を行う注文処理プログラム（注文処理手段）などが起動している。

【0018】外部記憶装置14に格納される商品情報Ia・Ibのうち、商品情報Iaは、インターネットINを経由して売手クライアント21からサーバ11に送信されたものである。また、商品情報Ibは、実店舗40に展示されている商品についてのものである。この商品情報Ia・Ibは、共に閲覧可能に保持されている。ちなみに、外部記憶装置14には、商品情報Iaがn個（ $n=1,2,\dots$ ）、商品情報Ibがk個（ $k=1,2,\dots$ ）格納されている。この商品情報Ia・Ibの詳細については、後述する。また、外部記憶装置14には、買い手20及び売り手30などの顧客データも内部情報として格納されている。なお、サーバ11は、委託販売業者10の管理下に置かれる。

【0019】次に、売手クライアント21は、例えば売り手20が自宅に所有しているパソコンである。この売手クライアント21は、図示しないが、サーバ11と同様に、MPU、RAM、外部記憶装置、入出力装置、D

SUなどがバスに接続されている構成を有する。なお、売り手20は、デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラを所持しており、販売を意図する商品のデジタル画像データを作成することができる。そして、この画像データを、入出力装置から売手クライアント21内に取り込むことができる。

【0020】また、売手クライアント21はインターネットINに接続され、WWWブラウザが起動している。ここで、WWWブラウザは、インターネットIN上に存在する種々のサーバ（HTTPサーバ・WWWサーバ）が閲覧可能に保持している各種情報を閲覧するソフトウェアである。また、WWWブラウザを利用することにより、種々のサーバに対して各種情報を送信することができる。したがって、売手クライアント21は、インターネットINを介して、委託販売業者10が管理するサーバ11が閲覧可能に保持している各種データを閲覧することができる。さらに、売手クライアント21は、インターネットINを介して、サーバ11に商品情報Iaを始めとした各種の情報を送信することができる。

【0021】一方、買手クライアント31は、例えば売り手30が自宅に所有しているパソコンであり、売手クライアント21と同様の構成を有する。

【0022】また、買手クライアント31は、売手クライアント21と同様にインターネットINに接続され、閲覧手段たるWWWブラウザが起動している。したがって、買手クライアント31は、売手クライアント21と同様にしてインターネットINを介して、サーバ11が閲覧可能に保持している商品情報Ia・Ibを始めとする各種データを閲覧することができる。さらに、買手クライアント31は、インターネットINを介して、サーバ11に注文データDo及び検品データDiを始めとした各種の情報を送信することができる。

【0023】実店舗端末41は、実店舗40内に設置されたパソコンである。この実店舗端末41は、売手クライアント21と同様の構成を有し、実店舗40に持ち込まれた商品に関する商品情報Ibを入力して、インターネットINを経由してサーバ11に提供することができる。なお、サーバ11と実店舗端末41の間は、LAN（Local Area Network）で接続してもよい。

【0024】ちなみに、実店舗40は、例えば多くの来客が予想される繁華街に設置されるが、この実店舗40には、売り手20から商品が直接持ち込まれる。持ち込まれた商品は、デジタルスチルカメラなどにより画像データが作成される。そして、この画像データを含んで商品情報Ibが作成される。商品情報Ibは、サーバ11に送信され、商品情報Iaと同様にサーバ11に閲覧可能に格納される。

【0025】なお、実店舗40には撮像手段としてのビデオカメラ42が設置されており、実店舗40の様子を撮影することができるようになっている。撮影された画

像は、動画データDmに変換され、例えば、実店舗端末41を経由してサーバ11に送信され、サーバ11からインターネットIN上に公開されるようになっている。このようにすることで、委託販売業者10は、売り手20及び買い手30に対して、一層信頼感を与えることができる。なお、実店舗40の様子は、実店舗40の外観などであってもよい。ちなみに、画像は録画ではなくリアルタイム(ライブ)でインターネットIN上に公開するのが、本発明の趣旨からして好ましい。

【0026】〔データ類〕次に、図1を参照して、本実施の形態における各種データ類を説明する。なお、この説明において図2を適宜参照する。

【0027】商品情報Iaは、委託販売業者10が作成したデータフォームなどに基づいて、売り手20が作成する。商品情報Iaは、売り手20を特定するデータ、商品の品名、商品の種別コード、商品の希望販売価格、コメントなど、及び商品の画像データを含んで構成される。この商品情報Iaは、売手クライアント21からインターネットINを経由してサーバ11に送信され、サーバ11内の外部記憶装置14に閲覧可能に格納される。そして、インターネットINを経由して買手クライアント31に送信(閲覧)される(売手クライアント21→サーバ11→買手クライアント31)。

【0028】商品情報Ibは、実店舗40が作成する。商品情報Ibは、商品情報Iaと同じ構造を有する。この商品情報Ibは、実店舗端末41からインターネットINを経由してサーバ11に送信され、サーバ11内の外部記憶装置14に閲覧可能に格納される。そして、インターネットINを経由して買手クライアント31に送信(閲覧)される(実店舗端末41→サーバ11→買手クライアント31)。

【0029】買い手30は、この商品情報Ia・Ibに基づいて、商品の選択を行う。なお、取り引きのトラブルを防止するため、商品情報Ia・Ibは、サーバ11に送信された段階で、必要に応じて委託販売業者10のチェック及び修正が行われることがある。また、商品情報Ia・Ibは、委託販売業者10により、必要なデータが追加されることがある。

【0030】注文データDoは、売り手40が商品情報Ia・Ibを閲覧して検討した結果、欲しい商品があった場合に、商品の注文を行うために作成する(委託販売業者10のデータフォームに基づいて作成)。この注文データDoは、買い手30を特定するデータ、商品を特定するデータなどを含んで構成される。この注文データDoは、買手クライアント31からインターネットINを経由してサーバ11に送信される。なお、取り引き形態がオークションなどの場合には、注文データDoに、買い手30の購入希望価格などが含まれる。ちなみに、本実施の形態では、売り手20の希望販売価格どおりに取り引きが行われる。このため、買い手30の購入希望

価格は、注文データDoには含まれない。

【0031】送金要請指令Irは、買い手30の注文が受理されたときに、サーバ11(委託販売システム1)で作成され買手クライアント31に送信される。送金要請指令Irには、送金すべき金額、及び送金すべき金融機関の口座番号が含まれている。この口座は委託販売業者10が管理するものである。

【0032】発送要請指令Isは、買い手30からの送金を確認した後、サーバ11(委託販売システム1)が作成し、売手クライアント21に送信する。発送要請データDsには、商品の発送先を特定するデータが含まれている。なお、商品が実店舗40にある場合には、発送要請指令Isは、実店舗端末41に送信される。この発送要請指令Isは、電子メールとして送信される。

【0033】検品データDiは、買い手30が受け取った商品を、買い手30が検品した結果を記述したものである(委託販売業者10のデータフォームに基づいて作成)。検品データDiは、買手クライアント31からサーバ11に送信される。なお、検品データDiは2種類あり、一つは検品の結果が満足であった旨のポジティブデータであり、他の一つは検品の結果が不満足であった旨のネガティブデータである。後者の検品データDiは、商品の返品を意図するものである。

【0034】動画データDmは、ビデオカメラ42が撮影した実店舗40の様子をデジタル動画データ化したものである。売り手20や買い手30は、この動画データDmを、例えばReal Videoなどにより動画として見ることができる。この動画データDmは、実店舗端末41からサーバ11を経由して、売り手20や買い手30に送信される。

【0035】〔取り引き例〕次に、前記構成の委託販売システムによる委託販売における取り引き例を、図3及び図4を参照して説明する。なお、この説明において、図1及び図2を適宜参照する。

【0036】(商品情報の提供) 先ず、図3を参照して委託販売システムにおける商品情報の提供時の処理を説明する。図3に示すように、委託販売システム1により商品を販売しようとする売り手20は、売手クライアント21を、インターネットINを介してサーバ11に接続する(S1)。そして、データフォームに基づいて作成した商品情報Iaをサーバ11に送信する(S2)。サーバ11では、これを閲覧可能な状態で(データベース化して)外部記憶装置14に閲覧可能に格納する(S3)。なお、売り手20が実店舗40に直接商品を持ち込む場合は、実店舗40において商品情報Ibを作成し、これを実店舗端末41からインターネットINによりサーバ11に送信する。サーバ11は、商品情報Ibを商品情報Iaと同様にして外部記憶装置14に閲覧可能に格納する。これにより、買い手30は、買手クライアント31により、自由に商品情報Ia・Ibを閲

覧することができる。

【0037】(注文処理) 次に、図4を参照して委託販売システムにおける注文処理を説明する。図4に示すように、委託販売システム1により商品を購入しようとする買い手30は、買手クライアント31を、インターネットINを介してサーバ11に接続する(S11)。そして、商品情報Ia・Ibを閲覧する(S12)。買い手30は、商品情報Ia・Ibの画像データなどや希望販売価格などを参考にして、商品を購入するか否かを判断する。この際、買い手30は、実店舗40の画像(動画)を見ることができる。

【0038】ステップS13において、商品情報Ia・Ibの中から購入を希望する商品があった場合は、買い手30は、データフォームに基づいて注文データDoを作成し、これをサーバ11に送信する。購入を希望する商品がない場合は、サーバ11との接続を切断する。なお、本実施の形態では、売り手20の希望販売価格どおりに商品が販売される。このため、サーバ11は、先着順に注文データDoを処理して行く。ちなみに、取引形態がオークションの場合には、注文の方法やサーバ11などにおける処理は、本実施の形態のものとは異なるものになる。

【0039】続いて、注文が受け付けられると、サーバ11から買い手30のもとに、送金要請指令Irが送信される。買い手30は、この送金要請指令Irに基づいて委託販売業者が指定する口座へ代金を送金する(S14)。代金は、希望販売価格に手数料が加算されたものである。つまり、手数料を含んだ商品の代金を、委託販売業者10が一旦預かる。

【0040】ステップS15において、サーバ11は、商品が売り手20あるいは実店舗40の、どちらにあるのかを判断する。

【0041】商品が実店舗40にある場合には、サーバ11は、実店舗端末41に対して商品の発送要請指令Isを電子メールにより送信する(S16)。この発送要請指令Isを受けて、実店舗40が商品を買手30に、例えば宅配便などを利用して発送する(S17)。

【0042】一方、商品が売り手20のところにある場合には、サーバ11は、売手クライアント21に対して商品の発送要請指令Isを電子メールにより送信する(S18)。この発送要請指令Isを受けて、売り手20が商品を買手30に、例えば宅配便などを利用して発送する(S19)。

【0043】発送された商品が届いたら、買い手30は、商品の検品を行う(S20)。検品の結果、商品に傷などがなく満足できるものであれば、ポジティブデータとしての検品データDiをデータフォームに基づいて作成し、サーバ11に送信する(S21、商品受領連絡)。このポジティブデータとしての検品データDiを受けて、サーバ11(委託販売システム1)は、商品の

代金を、金融機関を通して売り手20に送金する。これにより、売り手20は商品の代金を得、買い手30は商品を得、委託販売業者10は手数料を得、委託販売システム1による取り引きが完了する。

【0044】一方、商品に傷などがあり満足できないものであれば、買い手30は、ネガティブデータとしての検品データDiをデータフォームに基づいて作成し、サーバ11に送信する(S23、返品連絡)。このネガティブデータとしての検品データDiを受けて、サーバ11(委託販売システム1)は、返品がある旨を電子メールで売り手20に通知する(S24、返品通知)。そして、売り手20の了解のもと、商品が売り手20あるいは実店舗40に返品される(S25)。返品を確認して、サーバ11(委託販売システム1)は、金融機関を通して手数料を差し引いた代金を買い手30に返金する(S26)。これにより、売り手20には商品が戻り、買い手30には代金が戻り、委託販売業者10には手数料が残る。

【0045】このように実店舗を備えることで、売り手及び買い手は、安心して委託販売による取り引きを行なうことができる。なお、買い手が実店舗に出向いて、実店舗から商品を購入することもできる(実店舗では対面販売も行う)。

【0046】以上、発明の実施の形態を詳細に説明したが、本発明は上記した実施の形態に限定されことなく、広く変形実施することができる。取引形態は、オークション形態であってもよい。また、売り手及び買い手となりうるのは、インターネットに接続されたすべてのクライアント(クライアントの所有者など)である。

【0047】

【発明の効果】以上、請求項1に記載の発明によれば、委託販売システムが実店舗を備えるので、委託販売業者の信用及び信頼性が担保される。したがって、売り手及び買い手は、安心して委託販売システムによる取り引きを行なうことができる。また、実店舗の商品もインターネットを利用して取り引き可能としてある。このため、取り引きにおける選択肢が増え、よりユーザフレンドリーになる。また、実店舗において検品可能となり、取り引きにおけるトラブルを少なくすることができる。さらに、買い手は、商品が売り手の手元にあるのか、あるいは実店舗にあるのかの別を意識することなく、商品情報を閲覧し注文することができる。

【0048】また、請求項2に記載の発明によれば、買い手及び/又は売り手は、実店舗の様子を知ることができるので、一層信頼を置いて委託販売システムによる取り引きを行なうことができる。

【0049】そして、請求項3に記載の発明によれば、売り手及び買い手は、さらに安心して委託販売システムによる取り引きを行なうことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本実施の形態のインターネットを利用した委託販売システムの全体構成図である。

【図2】 図1のサーバのハードウェア構成例を示す図である。

【図3】 本実施の形態のインターネットを利用した委託販売システムにおける商品情報の低挾持の処理を説明するフローチャートである。

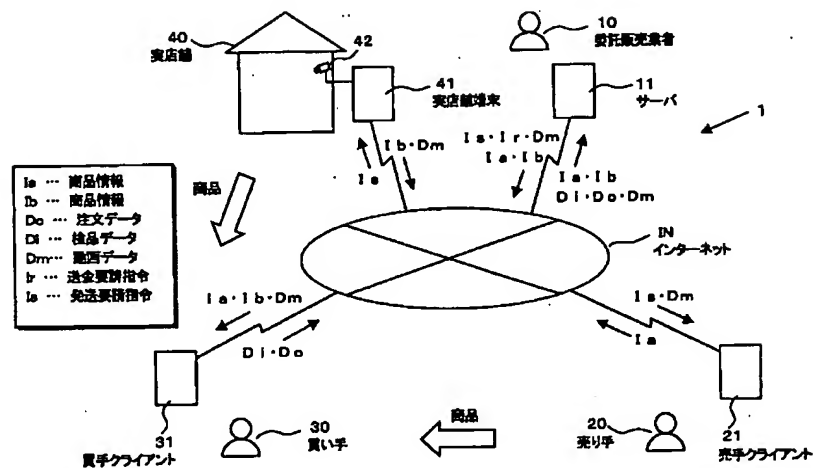
【図4】 本実施の形態のインターネットを利用した委託販売システムにおける注文処理を説明するフローチャートである。

【符号の説明】

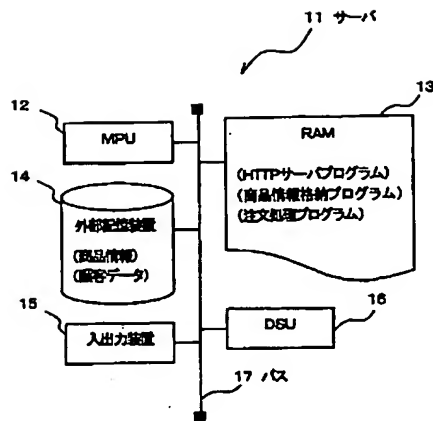
- 1 … 委託販売システム
10 … 委託販売業者
11 … サーバ
12 … MPU
13 … RAM
14 … 外部記憶装置
15 … 入出力装置

- 16 … DSU
17 … バス
20 … 売り手
21 … 売手クライアント
30 … 買い手
31 … 買手クライアント
40 … 実店舗
41 … 実店舗端末
42 … ビデオカメラ（撮像手段）
IN … インターネット
Ia … 商品情報
Ib … 商品情報（実店舗に展示された商品の商品情報）
Do … 注文データ
Di … 検品データ
Dm … 動画データ
Ir … 送金要請指令
Is … 発送要請指令

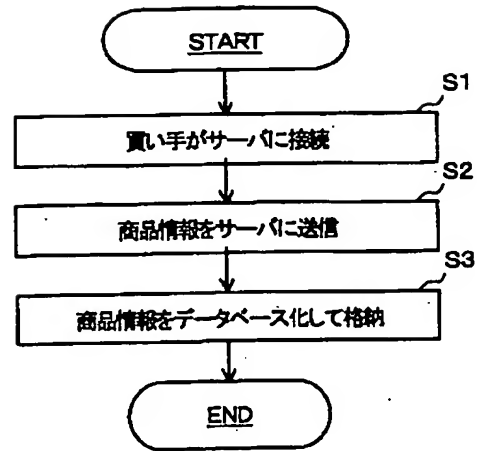
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

